



# 芦屋「九条の会」ニュース

発行責任者：片岡隆 連絡先 090-7118-2312

<http://ashiya9.web.fc2.com/>

## 憲法九条は変えさせない！

# 施行70年、憲法を生かしてこそ

今年5月、憲法施行70年を迎えます。「新憲法をつらぬいている民主政治と、国際平和の輝かしい理想を守り抜くために、全力をつくすことを誓おう」。1947年5月3日発行の「新しい憲法 明るい生活」は国民にこう呼びかけました。(憲法普及会編 2千万部を全世界帯に配布)

しかし今、憲法をとりまく政治状況は大きく変わっています。かねてから在任中の改憲に意欲を隠さない安倍首相は年初から、国会で3分の2を占める改憲勢力を背景に「今年はいよいよ憲法議論を深め、具体的な姿を作っていきたい」(1月5日自民党仕事始め、20日国会での施政方針演説等)と、繰り返し改憲の意思を表明しています。

また、「自民党は改憲に関する論点整理を新たにまとめ、今通常国会で衆参両院の憲法審査会に提示する方針」(1月6日付日経新聞朝刊)との動きも伝えられています。極めて保守的・復古的で批判の多い自民党改憲草案とは別に、緊急事態条項に加えて日本維新の会が主張する教育無償化や道州制導入等も盛り込んで、カジノ法案で協力した勢力の取り込みを狙っていることは明らか。いわゆる「お試し改憲」(合意を得やすい項目から国民を国民投票に慣れさせる)を突破口に、最後に目指すのは九条ではないか。世界に類のない九条を変え、日本を海外で武力行使ができる「普通の国」にしようとする意図が見え隠れしていると思われまます。

安倍政権による軍事力を背景とした国づくりのための改憲を阻止し、憲法の平和主義の下、憲法を生かした国づくりを目指さなければなりません。憲法審査会の動きを注視するとともに、国民投票を視野に入れた運動も必要です。芦屋「九条の会」は全力で活動して参ります。今年もご支援よろしくお願いいたします。

## 『第九条』上映会で話し合いませんか

3月4日に映画『第九条』上映会を行います。昨年夏に劇場公開された新しい映画です。タブーを恐れずに様々な観点から、若者が「九条を維持すべきか、破棄すべきか」議論します。「一方的な方向に誘導するのではなく、観客にあなたならどう考える」と、問いかけています。憲法の根幹である「第九条」について、あらためて考えるきっかけにしてください。映画終了後、感想等を話し合う意見交換会も行います。上映会へのご参加をお待ちしています。(片岡 隆)

